〈飛翔会議〉

おおさきブランド戦略会議

事

事)、上妻るり子氏(市民代おおさきさくら福祉会理

表)、佐藤隆雄氏 (㈱ジェ

代表取締役社長)、

長 大泉 - 桃ででワン経営代表取締役)、座ワン経営代表取締役)、座

节节色色红色

おおさきブランド戦略会議 会議

あおさきブランド戦略会議「飛翔会議」は、大崎市の豊富な地域資源と民間の活力を最大限に活用して、 魅力あるまちづくりを推進するため、産業・保健・福祉・教育などのテーマを設け、有識者やその分野で活 躍している人たちにご提言などをいただくもので、その提言などは、現在、素案づくりを進めている総合計 画や各種施策に反映していきます

今回は、昨年8月から今年1月までに8回開催した、おおさきブランド戦略会議のパネルディスカッショ ンの概要をお知らせします。

平成 19 年度もおおさきブランド戦略会議を開催しますので、大崎市の進むべき方向を一緒に考えましょう。

◆開催日 おおさきブランドづくり

八年八月十二日出

大崎出身者から見た

第一回会議テ

◆**提言の内容**

座長

大泉一貫氏

デスティネ

ションキャン

古川地域

ルタン 小堺桂悦郎氏 外崎浩子氏 (経営コンサ 宮

発信_

しきれて

いない

すべき。

市内の全観光施設を掲載

◆提言の内容

• 消費者が求めている安全

安心な食材の提供が重要

たマップによる情報発信を

の推進につなげる工夫を。 わらせることなく地域振興

穴場的な観光資源を外部に

米にこだわり、

おにぎりで

氏(東北放送報道部記者)、城県議会議員)、横山義則 おおさきのキャッチコピー 大泉一貫氏 (宮城大

◆提言の内容 座長 abla学事業構想学部教授) -クをつくってはどうか。

ランドづくりをすべき。 民・学・官の協力によるブ 外部との交流を図るべき。 大崎市の各地域間、そして

おおさき食産業戦略

第三回会議テーマ

宮城県の企業、

行政はマ

れるべき。

頭に立ち、消費者のニー

ケティングが足りない

店

をしっかりと把握すべき。

光客へ声をかけていくべき。る。地域住民は積極的に観

都会の人は会話に飢えてい

地域の食産業の基盤である まちおこしをしてはどうか。

ササニシキにもっと力を入

♥パネリスト

政策課政策企画担当 ☎23-2129

第二回会議テーマ おさき観光戦略

お



平成十

八年八月二十六日出

鳴子温泉地域 鳴子温泉地域

美氏 (市民代表)、干葉和子交流文化事業部)、小滝速阿部昌孝氏 (㈱JTB東北

氏(㈱JTBパブ

ッシン

蜂谷賢悦氏(古川駅駅

スファ

ペパネリスト田尻地域

◆パネリスト 田憲男氏(㈱宮城読売サ 業本部長)、鈴木誠氏(関東 ビスセンター

〈飛翔会議〉 会議のようす

今野文隆氏(侚デリ

◆開催日

ム社長)、 清水智 シ ヤ

◆開催日

おおさき産業革命戦略

第四回会議テ

7

◆開催地域

平成十八年九月二十三日出

三本木地域

泉一貫氏

平成十八年九月九日出

(㈱北燈社代表取締役)、角取締役社長)、長田洋子氏井上修一氏(㈱カルラ代表 · Independent of the state of 専務取締役営

● 障害者の就労のために、求 口を設置してはどうか。 た人への情報提供をすべ、ント開催と参加できなか 参加者の目線に立ったイ

き。

第八回会議テ

大崎飛翔の地域戦略

が対等の立場で話し合い

上げていく時代である。

◆開催日

平成十九年

月四日休

大崎飛翔の地域戦略」と題

川地域

おおさき人づくり戦略

◆市内の事業者等が持つ技術

必要ではないか。

皆さんにも奮起してほしい

大崎二十万市への

◆開催日

◆パネリスト

岩出

山地域

平成十

八年十

一月四日出

開催地域

ポリスト 鹿島台地域

川雅朗氏

(社会福祉法人

旅実行委員長兼団長)、鎌田

一〇〇キロメ

考える会「ホップクラブ」会 和子氏(松山子育て支援を

研究発表

◆テー

保健·

医療・

福祉戦略

おおさき

第六回会議テーマ

◆開催日

平成十

八年十一月十九日旬

第五回会議テ

がある地域である。地域のが元気な地域づくりを。

業 •

商業・観光業、みんな

た地域づくりではなく、 ひとつの分野だけが特化.

I

移住・交流をする人たちへ提言の内容

し、配布すべき。のガイドラインを市が作成

移住・交流を希望する人た

ちがどのようなサー

-ビスを

第七回会議テ

\ \ \ \

てはどうか。

長補佐)、

曽木玲子氏

大泉一貫氏

健康づくり、

福祉、

子育て

支援にしても、

行政と市民

省自治行政局過疎対策室課 研究員)、志田文毅氏(総務

持つ米でブランドをつくっ おおさきが絶対的な強さを ◆提言の内容

地域振興センタ

主任特別

はどうか。

の育成が必要である。

などをもとにしたまとめ これまでの会議での提言

大泉一貫氏(大崎ブランド

指して~ 新たな、故郷が 商農連携から産学 \emptyset 発展を目

ペパネリスト松山地域

課長)、榊原進氏 (劇宮城県板橋茂氏(丸森町企画財政

高学年の遊び場をつくって学校の空き教室を利用した

全体でのボランティア団体●担当者だけではなく、行政

で支えるべき。

障害を持った人たちを地域

◆開催日

平成十八年十月十四日出

◆提言の内容

長 大泉一貫氏公衆衛生学分野教授)、

座

見て

いくことが必要。

さまざまな活動を行ってい

る団体を横につなぐ機会を

つくるべき。

医学系研究科社会医学講座 辻一郎氏 (東北大学大学院

◆提言の内容 行政が地域をひとつの目で

組み」をご覧ください。 崎市ホームページ「市の取り ※会議の詳細については、大

◆講話の内容 戦略会議座長)

治組織・市民協働アビ 櫻井常矢氏(大崎市地域自

-)、門脇基氏

(おおさき ル徒歩の

•自分をちの地域の将来につ

ない本物をつくってほしい

・世界に出しても恥ずかしく

◆発表者 官連携への拡大~ の皆さん

の皆さん

13 広報 おおさき 2007-4

座長

ーンを一過性のものに終